

2014年11月25日

Molex
CC-Link協会

米 Molex が CC-Link 協会との関係を強化 アジアでの事業拡大目指し、幹事会メンバー参画で CC-Link にコミット

米 Molex(本社:米国イリノイ州)と産業用オープンネットワーク「CC-Link」の普及活動を展開する CC-Link 協会(本部:名古屋市)は、Molex が CC-Link 協会の幹事会メンバーに参画し、協力関係を強化することで合意したと発表しました。Molex は CC-Link 協会の運営に積極的に参加することで、CC-Link の普及が特に進んでいるアジア地域での事業拡大を目指します。

■両者の協力関係強化の背景

Molex は、コネクタや組み込み用各種ボード、リモート I/O やゲートウェイなどの製品の開発・販売を手がけています。特にコネクタで幅広い事業展開を行っていることで知られ、10 万種類以上のコネクタを、電子機器や光ファイバーの接続、スイッチや PC カードなど向けに提供しています。CC-Link 協会の新しい幹事会メンバーとして活動するのは、同社の産業用ネットワーク関連製品部門である Industrial Communication 部門です。

同社は CC-Link 協会発足当初から会員企業として積極的に参画し、CC-Link 対応の PCI ボードなどの開発を進めてきました。このたび同社は、成長著しいアジア地域でのビジネス拡大を目指す方針を明らかにし、アジア地域で特に普及度が高い CC-Link に改めて注目。CC-Link へ積極的にコミットする姿勢を明らかにするために、CC-Link 協会幹事会への参加意思を表明し、このたびそれが正式に CC-Link 協会にて認められたものです。

同社は CC-Link 協会の幹事会メンバーとして、CC-Link の新技術開発や普及のためのマーケティング活動に、主導的な立場の一社として関わることとなります。また CC-Link 協会はその活動面で、産業用ネットワークソリューションでグローバルに大きな存在感を放つ同社の協力を受けることになり、CC-Link の品揃え拡大やさらなる普及に弾みがつくと期待されます。

■CC-Link 協会の幹事会について

CC-Link 協会の幹事会は、CC-Link 協会の活動にまつわるさまざまな意思決定を先導的な立場で行う中核組織です。もともと日本のメーカー6 社で構成していましたが、CC-Link のグローバルレベルでの普及を背景に、2012 年 6 月に中国・上海電機菱電節能控制技術有限公司、2013 年 9 月にドイツ Balluff が参画し、運営組織もグローバル化が進んでいます。米 Molex の参画はこれに続くもので、9 社目の幹事会メンバーとなります。

■CC-Link について

CC-Link は三菱電機など業界各社が中心となって、2000 年にまとめられた日本発のオープンフィールドネットワーク規格です。高速な応答性で生産現場での機器や装置の的確な制御を実現し、生産の効率化に貢献するだけでなく、情報系のネットワークも統合することが可能です。

2007 年には、コンピュータネットワークの分野でデファクトの Ethernet の技術を取り込んだ「CC-Link IE」を発表。1Gbps という高速性を実現したほか、汎用の Ethernet ケーブルやコネクタが利用可能になったことにより、メンテナンス性が大幅に向上しております。

■CC-Link 協会について

CC-Link 協会は、CC-Link の普及推進を図るために 2000 年に設立したオープンネットワーク推進団体です。主な活動としては、CC-Link の技術仕様策定やコンFORMANCEテストの実施、CC-Link を活用した機器や装置の開発サポート、ユーザーの機器選定支援、CC-Link 普及のための各種広報活動などがあります。会員数 163 社で発足した CC-Link 協会は毎年拡大を続け、2014 年 10 月末時点では海外企業 1,545 社を含む計 2,192 社が会員として加盟しております。

お問い合わせ窓口

CC-Link 協会 〒462-0825 名古屋市北区大曾根 3-15-58 大曾根フロントビル 6 階
TEL:052-919-1588 / FAX:052-916-8655 / E-Mail:info@cc-link.org
URL:<http://www.cc-link.org/>